

推進体制

本ビジョンの推進に当たっては、行政のみならず、全ての産業関係者が、それぞれの役割を發揮しつつ連携することが必要となります。国、県や産業支援機関、民間事業者、金融機関、大学など市内産業に関わる様々な主体との現行の連携体制を活用しつつ、適宜新たな連携を取りながら、事業推進の体制づくりを進めるものとします。



柏市

産業振興戦略

ビジョン

— 概要版 —

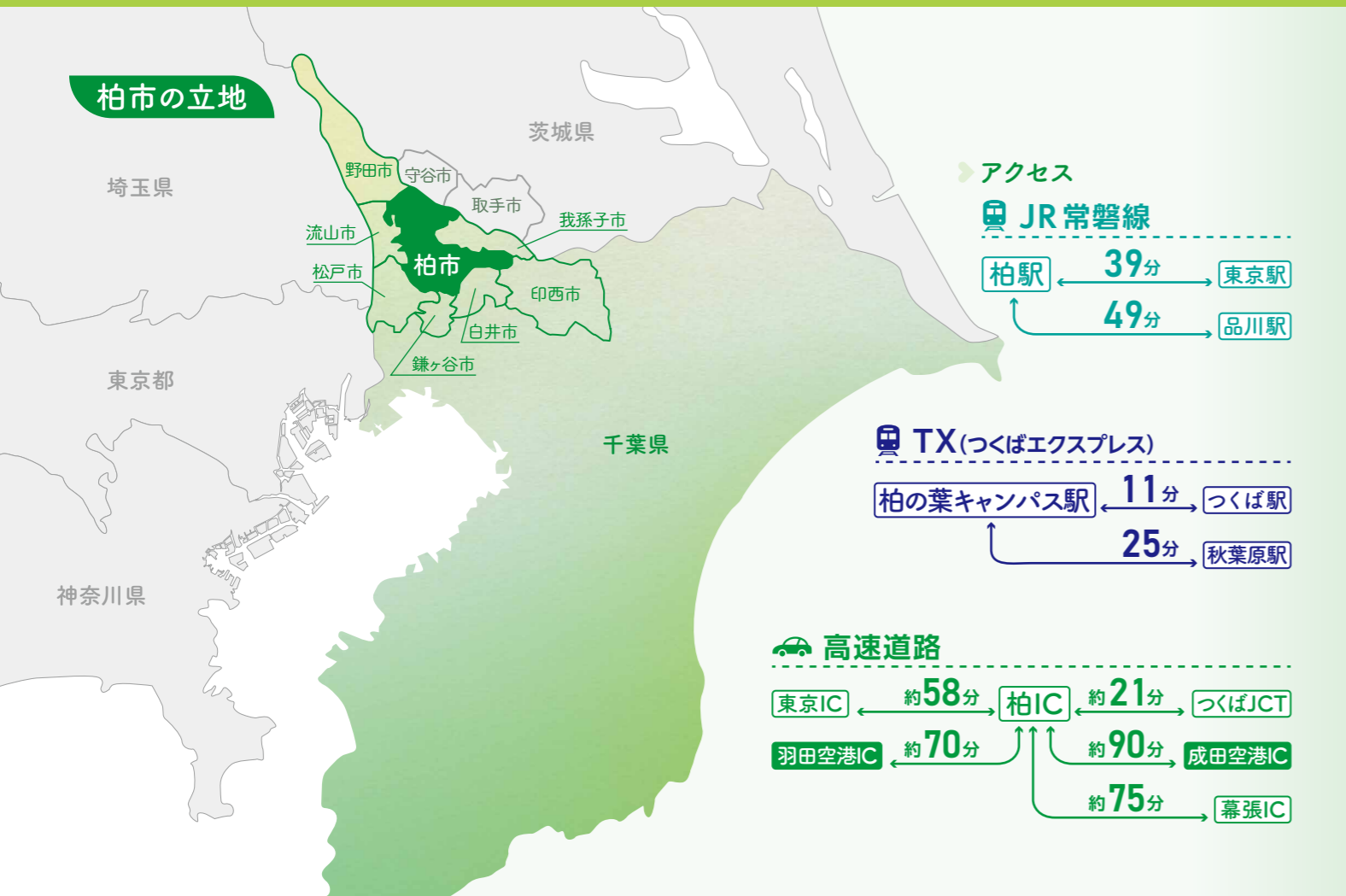
平成31年3月

柏市

柏市産業振興戦略ビジョン 概要版

発行：柏市役所 経済産業部商工振興課
〒277-8505 千葉県柏市柏5丁目10番1号
TEL 04-7167-1141

柏市の立地



柏市の産業

観光

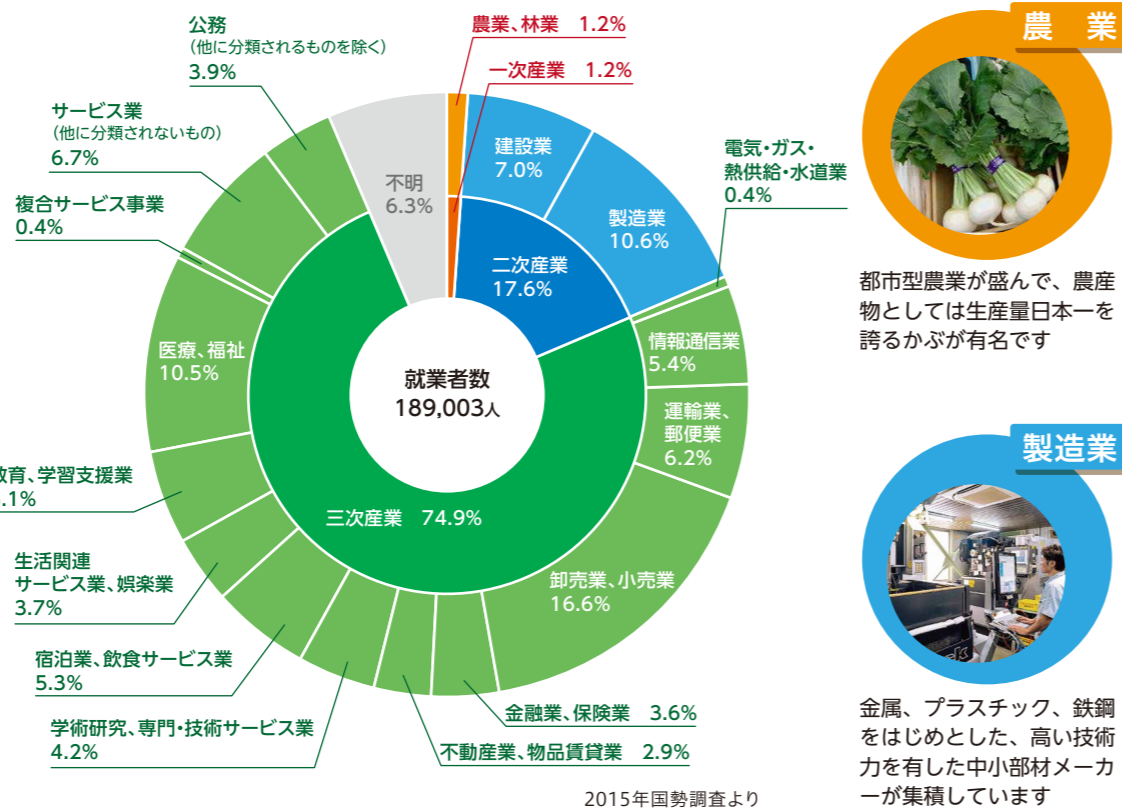


歴史的・文化的側面を有する手賀沼等の観光資源を有しています

商業



都市近郊のベッドタウンとして人口が多く、商店街や商業施設が数多く集積しています



農業



都市型農業が盛んで、農産物としては生産量日本一を誇るかぶが有名です

製造業

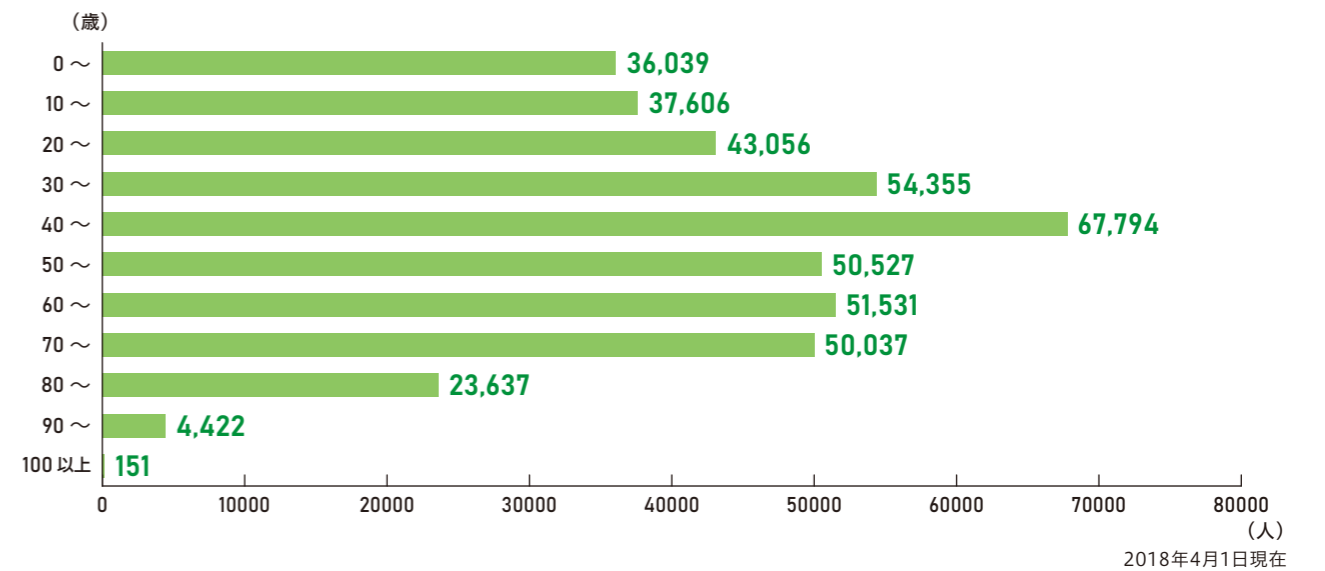


金属、プラスチック、鉄鋼をはじめとした、高い技術力を有した中小部材メーカーが集積しています

データで見る柏市

人口	教育機関	公園
総人口 425,396 人	大学 6	都市公園数 606 カ所
世帯数 186,820 世帯	高等学校 14	都市公園面積 239.08 ha
面積 114.74 km ²	〈主要な教育・研究機関〉 東京大学、千葉大学、気象大学など	2018年4月1日現在
2019年3月1日現在		

年齢階級別人口



柏市の風景



あけぼの山公園のチューリップ



柏の葉オープンイノベーションラボ (KOIL)



柏レイソル本拠地の黄色に染まったスタンド



柏駅周辺 (写真手前) と手賀沼 (写真奥)

柏市産業振興戦略ビジョンについて

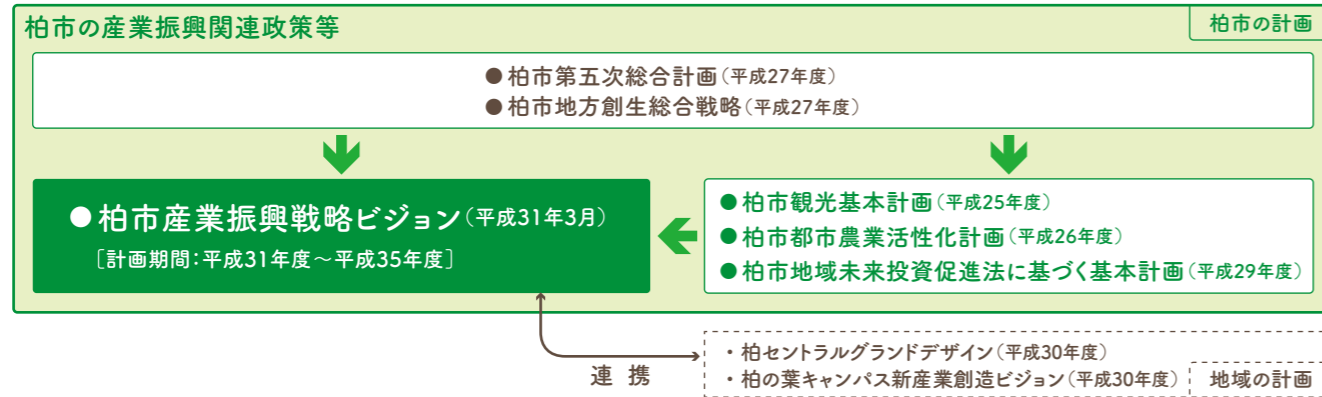
▶ ビジョンの目的

我が国を取り巻く社会経済環境は、本格的な人口減少社会の到来や少子高齢化のさらなる進展、経済のグローバル化や情報通信技術（ICT）の進展など、大きな変化の最中にあります。

こうした中で、自立した自治体として、持続的に発展をしていくためには、時代の変化に適応した産業振興の形が求められます。

そこで、これまでの取組や新たな社会構造・産業構造の変化を勘案し、柏市の強みを活かした産業の中長期的な方向性を示すため、「柏市産業振興戦略ビジョン」を策定しました。

▶ ビジョンの位置づけ



▶ 計画期間

「柏市産業振興戦略ビジョン」の計画期間は、平成31年度（2019年度）から平成35年度（2023年度）までの5年間とします。本市を取り巻く社会情勢や産業動向などに変化があった場合は迅速に対応し、必要に応じて計画内容の見直しを行います。

柏市産業の課題

商業・中心市街地

1. 商圏人口の減少に対応した、個店・商業施設の魅力向上・経営革新
2. 吸引率が高く、人口が安定している柏駅周辺や柏の葉キャンパス駅周辺の足元商圏の囲い込み強化
3. 情報発信の不足が指摘されている市内商店における効果的な情報発信の推進
4. 会員数が減少している商店街における最適な業種・店舗構成の維持

製造業

1. 先端産業の集積ポテンシャルが高い成長産業分野の誘致
2. 集積の多い、技術力の高い市内の既存の中小部材メーカーと親和性の高い成長産業分野及び関連分野への参入促進
3. 柏市製造業のイメージアップと人材育成
4. 工業用地の保全・確保

農業

1. 離農や規模縮小により、耕地として利用されていない農地の有効利用
2. 畑地の耕作放棄地が拡大している市内の農地、農業の担い手確保のための新規就農者の確保、定着
3. 農業従事者の減少に対応した、専業農家の経営拡大
4. 都市化による農業生産環境の悪化を克服するため、消費者に近い都市のメリットを活かした、市民・消費者の農業理解の推進

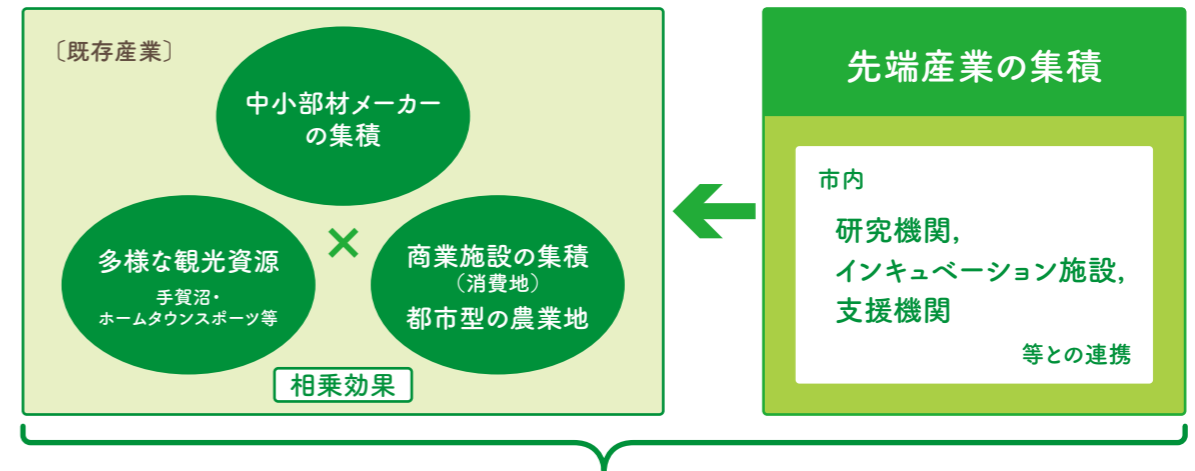
観光

1. 活用があまりされていない観光資源の磨き上げ
2. 情報発信の不足に対応した、シティプロモーションの促進
3. ホームタウンスポーツチーム等これまでの取組を活かしたスポーツツーリズムの展開
4. 観光推進体制の強化
5. 市域を超えた広域連携の展開

柏市が目指す産業の基本理念

先端産業と地域産業をむすび、
産業振興を通じて新たな価値を生み出す
価値創出都市「柏」

▶ 基本理念のイメージ図



新たな価値の創出

柏市産業振興戦略ビジョンの目標

目標

1

先端産業の集積が促進されており、イノベーションによる新たな価値の創造がなされている

目標

2

既存の産業や地域資源を活用し、産業力が強化されている

目標

3

地域の産業を支える基盤づくりが推進されている

施策体系図

基本戦略	基本施策	実施事業	今後の検討事業例
<p>1 先端産業の集積促進とイノベーションによる新たな価値の創造</p> <p>先端産業の集積を促進することにより、より強固な産業基盤を形成するとともに、イノベーションにより、成長分野の市場開拓や既存産業の強みを活かした新たな価値を創造します。</p> <p>目標 1</p>	<p>1-1 先端産業分野の誘致</p>	<p>(1) 企業立地促進事業奨励金 (2) シティプロモーションの実施 (3) マーケティングリサーチ事業</p>	<p>(1) AI・IoT・ビッグデータ企業の誘致 (2) ライフサイエンス分野の中核となる企業の誘致 (3) 実証実験フィールドの提供</p>
<p>2 業種を跨いだ連携の促進や場づくりによる新たな産業の創出</p> <p>ものづくり、農業、商業、観光など、柏市の多様な業種の垣根を越えた仕組みを構築することにより、これまでにない新たな産業を創出します。</p> <p>目標 1 目標 2</p>	<p>2-1 産学官連携拠点を活用したものづくり・医工連携の推進</p>	<p>(1) インキュベーションマネージャー事業(再掲) (2) マーケティングリサーチ事業</p>	<p>(1) 東葛テクノプラザ, KOIL, 東大柏ベンチャープラザ等を活用したものづくり・医工連携の推進 (2) AI 拠点の活用 (3) 新ビジネスの創出・開発支援</p>
<p>3 地域資源を活用した魅力創出と地域ブランドの確立</p> <p>歴史ある観光資源や集客力の高い農業施設、農産品などの多様な地域資源を活用した新たな魅力を創出するとともに、柏らしさを確立し、より一層内外へ発信することにより、柏の地域ブランドを確立します。</p> <p>目標 2</p>	<p>2-2 農業・商業・工業との連携の推進による観光振興の実施</p>	<p>(1) 手賀沼アグリビジネスパーク事業</p>	<p>(1) 商工業・観光と連携によるまち一体としてのにぎわいの創出 (2) 「食と農」総合戦略の展開</p>
<p>4 産業を支える基盤づくりの推進</p> <p>起業支援や人材の確保・育成、安心で快適な環境の整備など、柏市産業の持続的な成長と発展に寄与する基盤づくりを推進します。</p> <p>目標 3</p>	<p>3-1 まちの魅力の磨き上げと積極的な資源の活用</p>	<p>(1) 商店街活性化事業 (2) かしわインフォメーションセンター事業 (3) 手賀沼アグリビジネスパーク事業(再掲)</p>	<p>(1) 個店の魅力向上と足元商圏の囲い込み強化 (2) 「コト」消費拡大への対応 (3) 商業・観光と連携によるまち一体としてのにぎわいの創出(再掲) (4) スポーツ、自然、体験をキーワードとした観光推進 (5) 営農環境と社会的機能の維持</p>
	<p>3-2 農業・商業・工業が一体となった地産地消の推進</p>	<p>(1) インキュベーションマネージャー事業(再掲)</p>	<p>(1) 6次産業化[※]の促進による地域ブランドの創出 (2) 農商工連携の促進(マッチング) (3) 柏農業の販売促進(ブランディング)</p>
	<p>3-3 人や企業が集まるまちに向けたイメージ定着</p>	<p>(1) かしわインフォメーションセンター事業(再掲)</p>	<p>(1) 「最先端ものづくりのまち, 柏」, 「働くなら, 柏」などのイメージづくり (2) 良好な居住環境のPR (3) 観光情報の向上・集約化 (4) 市民・周辺住民に向けたPR (5) 市民向け農業体験プログラムの検討</p>
	<p>4-1 市内産業の成長と発展を支えるヒト・モノ・カネ・情報面での基盤づくり</p>	<p>(1) 創業支援事業 (2) 中小企業融資制度(創業資金) (3) 就労支援事業</p>	<p>(1) 事業承継の支援 (2) 成長産業分野を牽引する高度人材育成プログラム</p>
	<p>4-2 産業を支えるまちづくりの推進</p>	<p>(1) 企業立地等の促進に関する連携協定 (2) シルバー人材センター事業</p>	<p>(1) 産業用地の創出・確保 (2) 女性やシニア層が働きやすい環境や機会の創出</p>

※6次産業化： 農林漁業(1次産業)と、製造業(2次産業)、流通・販売業(3次産業)を総合的かつ一体的に推進し、新たな付加価値を生み出す取組のこと。農業を1次産業としてだけでなく、加工などの2次産業、さらにはサービスや販売などの3次産業までを含め、1次から3次まで一体化した産業として、農業の可能性を広げようとするもの。